

## 2026 年度 経済学科 出張講義 一覧

No.	講義タイトル	講義内容	担当教員	講義形式	開催曜日 (前期) ※	開催曜日 (後期) ※	備考
1	GDP と経済厚生	GDP（国内総生産）は一国全体の経済規模を測る重要な指標であり、世界各国の GDP やその変化率である経済成長率は、ニュースや新聞などでよく取り上げられます。この授業では GDP の基礎について学習するとともに、国民の経済厚生にとって、どのような GDP の変動ないし成長が望ましいかを考えます。	舟島義人	聴講形式	水	水	
2	労働について考える	近年の人工知能（AI）やロボット工学の発達は、人がこれまで行っていた労働を「自動化」してしまうともいわれています。この講義では、そもそも労働とはどのような活動であるのか、という問いに対する一つの回答を紹介します。その上で、「自動化」が生じる理由について考えてみます。	泉正樹	聴講形式	水	水	
3	日本経済の長期停滞・衰退について考える	1990年代初頭のバブル崩壊以降、日本経済は40年近く経済の衰退が続いています。政府も手をこまねいていたわけではありません。むしろ、大きな経済対策を、何度も取りました。それでは、なぜ、日本経済の長期衰退が続くのでしょうか？この講義では、後発性の利益の喪失とグローバル化の観点から説明したいと思います。	白鳥圭志	聴講形式	月	月	
4	リスクを小さくする仕組み	金融やファイナンスの基本であるリスクを小さくする仕組みを紹介します。投資は資産のない若い世代には関係ないと思いませんか。実際には就職すると、個人型の年金をどのように運用すべきか、保険に加入すべきか、家を買うべきか、といった問題に直面します。こうした問題を題材に金融の入門の入門を学びます。	白井大地	聴講形式	木	木	
5	これからの税を考える	消費税や所得税など、私たちの生活には様々な税が関わります。日本は税の負担感が強い国だといわれますが、そもそも税は何のためにあるのでしょうか。また、諸外国と比べて日本の税にはどのような特徴があるのでしょうか。この講義では財政学の視点からこれからの税について考えます。	谷達彦	聴講形式	木	木	

No.	講義タイトル	講義内容	担当教員	講義形式	開催曜日 (前期) ※	開催曜日 (後期) ※	備考
6	ベイズの定理とその応用	ベイズの定理は、AI など機械に任せた意思決定の仕組みに深く関わっています。また、この定理は経済だけでなくマーケティングやスポーツなど広く活用されています。この講義では高校数学で学習する条件付き確率が、ビジネス現場でどのように利用されているかを紹介し、ベイズ分析の面白さを体感してもらいます。	大塚芳宏	聴講形式	木	木	
7	先進諸国の経済政策とその背景	2022年のロシアによるウクライナ侵攻に端を発する原油高は、世界的なインフレ（物価上昇）をもたらしています。このインフレに対して当初、欧米の中央銀行は金利を引き上げる「金融引締」と呼ばれる政策対応を取り、日本銀行はゼロ金利を据え置く「金融緩和」という政策対応を選択しました。インフレという共通問題に直面している先進諸国の経済政策が、なぜこれほどはっきりと分かれたのでしょうか。この講義では、インフレに対する各国の政策対応の背景を、経済学的メカニズムに基づいて直観的に解説します。	松前龍宜	聴講形式	火	木	
8	地域経済論からみた地域課題－東北地域を事例として－	日本の各地域は現在、様々な地域課題に直面しています。人口減少社会に突入している日本では、少子化・高齢化に悩まされている地域も広範にわたっています。さらに、農山漁村では第一次産業の担い手不足が叫ばれる一方、都市部でも業種によっては担い手不足が生じています。この講義では、東北地方を事例に、地域が抱える課題について地域経済論の視点から解説します。	望月理生	聴講形式	月、木	月、木	
9	グローバル経済について考える	グローバル経済の構造と特質について、その成り立ちに注目しながら講義していきます。具体的には、19世紀末から20世紀半ばまでのイギリスを中心とする国際経済体制の変遷について解説します。特にグローバル経済を規定する金融的権力について理解を深めてほしいと考えています。	佐藤純	聴講形式	月、木	月、木	
10	マーケットデザインに親しむ	マーケットデザインとは、ミクロ経済学の知見を活かして様々な現実問題の解決に挑む新しい研究分野です。周波数帯域の割当問題や研修医の配属問題などでは着実に成果を生んでいます。この講義では、マーケットデザインで実際に用いられる分析手法について、具体例を挙げながら紹介します。	稲見裕介	聴講形式	木	木	

No.	講義タイトル	講義内容	担当教員	講義形式	開催曜日 (前期) ※	開催曜日 (後期) ※	備考
11	プラットフォームの経済学	私たちはYouTube や X (旧 Twitter) といったネットサービスを、たいていは無料で利用しています。それらのサービスを提供するデジタルプラットフォームと呼ばれる企業は、どのようにして利益をあげているのでしょうか。この授業では、経済学の考え方をいながら、デジタルプラットフォームのビジネスについて分析します。	小林陽介	聴講形式	月、木	月、木	
12	経済学で数学はなぜ必要？望ましい政策決定のために	経済学では数学がしばしば登場します。それは経済現象の説明や社会的に望ましい政策の導出を論理的に行うためです。その際には、単に計算が得意であることよりも、数式やグラフが表す意味をくみ取る力がより重要になってきます。この講義では、具体的な政策を取り上げ、数理モデルの帰結は我々にどのような示唆を与えてくれるのか考えます。	吉田惇	聴講形式	木	木	
13	地域の中小企業について学ぶ	中小企業は私たちの生活の中で最も身近に存在する経済主体といっても過言ではありません。そんな中小企業は経済のグローバル化や IT 化が進む現代においてさまざまな課題に直面しています。たとえば、最近では海外も含めた販路開拓、人材育成、事業承継、ICT や AI などの活用などの課題が挙げられます。本講義では、実例に基づいて地域の中小企業が抱えている課題やその取り組みについて説明していきます。	田野穂	聴講方式	木	木	
14	経済学を楽しむ	経済学が日常生活に広く関係していることを知るとたいいていの人は驚きます。経済学はお金儲けの学問と考えるのはもう古く、「あなたが何を選ぶか」を研究するより広い範囲の学問だからです。本講義では、このような人々の選択行動を利用して、政府が健康問題を解決しようとしていたり、渋滞問題を解決しようとしていたりすることをデータを使って説明します。そのうえで、『経済学の利用方法』を楽しく皆さんと一緒に考えます。	篠崎剛	聴講方式	月	金	

No.	講義タイトル	講義内容	担当教員	講義形式	開催曜日 (前期) ※	開催曜日 (後期) ※	備考
15	経済学って何の役に立つか	ミクロ経済学を活用し、国内外の出来事や経済政策の変化などのニュースを踏まえた上で、今後経済がどのように変化し、どのような行動をとるべきかについて考察する。その中で、私生活における影響や、これから高くなるもの・安くなるものに注目する。	アレイウィルソン	聴講方式	月	月、水	
16	経済学の多様性	経済学にはさまざまな理論＝考え方が存在しています。どんな理論を勉強するかによって、見えてくる世界の姿も変わります。この講義では、価格や在庫といった身近な現象を題材にして、経済学の多様性に触れていただくとともに、さまざまな考え方が併存していることの意義を考えます。	塩見由梨	聴講方式	水	水	
17	循環型社会と持続可能性	循環型社会・脱炭素など環境配慮行的な政策等が推進されるようになって久しくなりました。消費者はどのようなことに気を付けながら経済活動をすればよいのか、事例等を交えながら考えてみます。	板明果	聴講方式	火	火	
18	地域経済論入門	学問としての「地域経済論」では必ずしも身近なところの問題を扱うわけではないが、高校生にとってはできるだけ接しやすい問題を扱う。例えば農業だけではなく様々な産業（工場や土木、観光など）が組み合わせられることによって成り立っている農村経済や少子高齢化の具体的な姿としての郊外住宅地（空き家問題、買い物難民、交通弱者など）、仙台などの都市の諸機能の移り変わりや諸問題などを取り上げる。	千葉昭彦	原則として聴講形式ですが、人数によってはゼミ形式も可	水、木	水、木	
19	金融バブルと金融危機	過去の金融バブルとその後の金融危機は、どういった経緯で発生し、どの程度の経済的混乱を招いたのかを解説します。理解がより深まるよう、中央銀行の役割など、関連する金融の基礎知識についてもおおまかに説明します。	岩本菜々	聴講形式	木	木	
20	マッチング理論を実験しよう	経済学のマッチング理論と呼ばれる分野では、売り手や買い手のマッチングだけではなく、さまざまなマッチングに関する問題が分析されています。マッチング理論がどれほど社会を変える可能性があるのか、実際にグループで実験してみましょう。	黒阪健吾	実習形式	木	木	

No.	講義タイトル	講義内容	担当教員	講義形式	開催曜日 (前期) ※	開催曜日 (後期) ※	備考
21	持続可能な開発とは？	世界は気候変動という大きな問題に直面しています。SDGsという言葉を目にしたことはあると思いますが、持続可能な開発目標とは、具体的にはどのようなことでしょうか。日本のように平和で豊かな国で、国民ひとりひとりのできることについて考えます。	窪田恵子	聴講形式	水、木	水、木	
22	環境経済学	大気汚染や水質汚濁などの環境問題を緩和するためにはどうしたらよいか、という問いに対して経済学がどのように取り組んできたのか、環境経済学という分野についてご紹介します。外部性という概念、排出税や排出取引制度など環境汚染物質を削減するための政策、環境の質を金銭的に評価するための手法などが、この分野に含まれる話題となります。	谷祐可子	聴講形式	月	月	
23	労働経済学：キャリアと教育の視点	①「なぜ勉強するのか？」「大学に行く価値は？」 大学進学を自己への「人的資本投資」として捉え、その収益率に関するエビデンスを紹介します。一方で、能力を示す「シグナリング」としての側面も議論します。「なぜ高い授業料を払ってまで大学に行くのか？」を数理的・統計的に分析する面白さを伝えます。 ②「好きなことを仕事にするのは正解か？」「注目されている仕事に就くために勉強するのは正解か？」「安定した仕事に就くのは正解か？」 労働市場の需給バランス、蜘蛛の巣理論（人的資本投資がしばしば失敗に終わる理由）、補償賃金格差（危険な仕事や不人気な仕事の給料が高い理由）を解説します。感情やイメージではなく、市場メカニズムで賃金が決まる仕組みを可視化します。	大森義明	聴講形式	木	木	①、または、②を選択

※ 「開催曜日」について

- (1) 本学の授業開講期間に出張講義を行う際の開催曜日の目安となります。
- (2) 「前期」は本学の「前期授業開講期間」を指します。
- (3) 「後期」は本学の「後期授業開講期間」を指します。
- (4) 開催曜日であっても都合により出席できない場合があります。
- (5) 授業休講期間（夏休みなど）の講義開催曜日は不定となります。
- (6) 本学の学事暦は本学ホームページ (<https://www.tohoku-gakuin.ac.jp/campuslife/schedule.html>) をご確認ください。